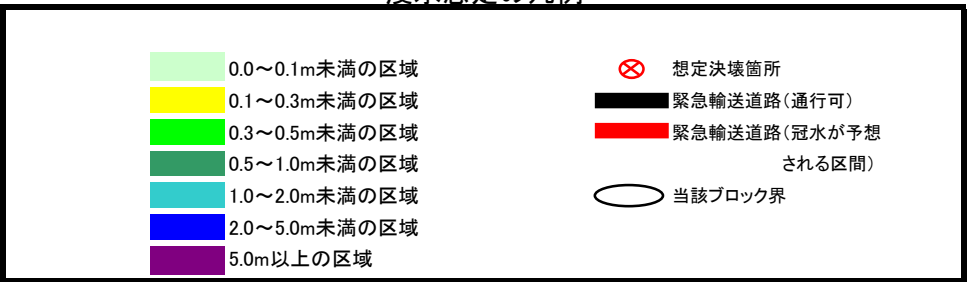


六角川 ⑤牛津川下流右岸はん濫
(決壊地点:右岸10.4km)



【当該ブロックの特性】

【避難所】すべての避難所が浸水で使用できない校区が存在するなど、避難所の多くが浸水で使用不可となる恐れがある。また、想定決壊付近の避難所では、大きな流れを受け、倒壊等の被害の恐れがある。

【電気】床上浸水が多く、停電世帯が多く発生する恐れがある。

【上水道】高層建物が多く、地下機械室の浸水や受水層ポンプ故障により断水する恐れがある。

【廃棄物】床上浸水が多く、大量の廃棄物が発生する恐れがある。

【要援護者施設】ケアハウス、老人ホーム、特別養護老人施設において浸水する恐れがある。

【LPガス】LPガス容器の流出・LPガス供給設備・消費設備の水没により使用不能となる恐れがある。

【道路】緊急輸送道路が六角川流域を縦横に走り、部分的ではあるが広範囲で冠水が予想される。また、はん濫水が引いた後も、浸水によって放置された車両などの影響で渋滞が発生し、道路を利用した活動に支障をきたす恐れがある。

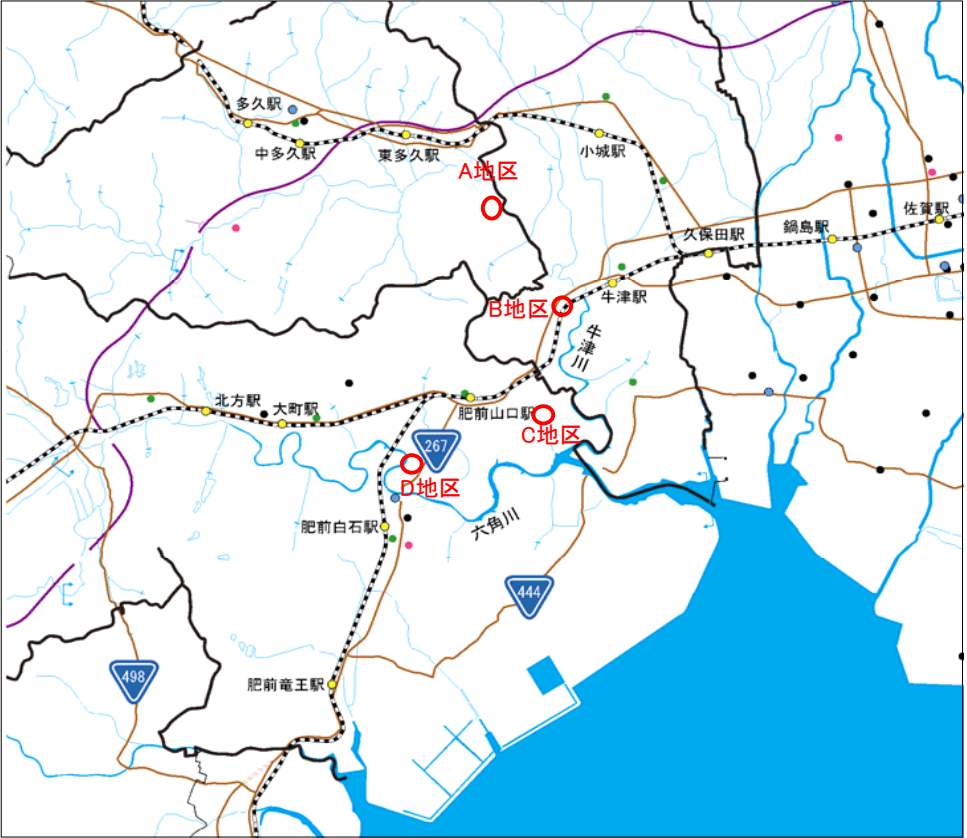
【死者】約16人(避難率0%の場合)

【孤立者数】約3,900人(避難率0%、0.5日後の場合)

【通信】浸水深が2m以上となれば、交換所の浸水の恐れがあり、通信サービスの提供に影響が生じる恐れがある。

【家屋流失】決壊地点から約200mの範囲で居住不可能な家屋被害が出現する。

被害項目	
浸水区域内人口(人)	約 7,000
浸水面積(ha)	約 1,900
床上浸水(世帯数)	約 1,500
床下浸水(世帯数)	約 300
死者数(人)	約 16 (避難率 0%)
	約 17 (避難率 10%)
	約 11 (避難率 40%)
	約 4 (避難率 80%)
孤立者数(人)	約 3,900 (避難率 0%)
	約 3,500 (避難率 10%)
	約 2,300 (避難率 40%)
	約 800 (避難率 80%)

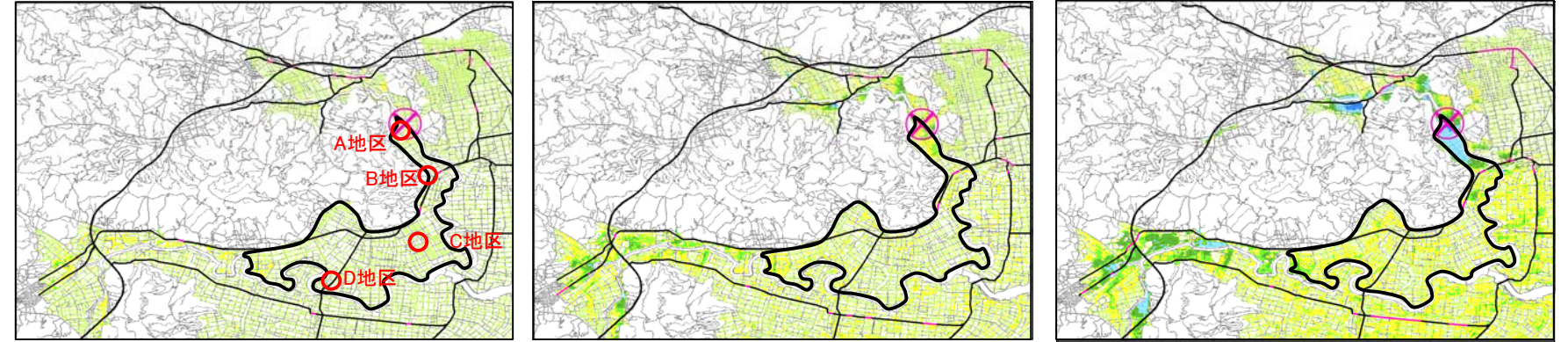


項目

浸水被害と冠水が予想される区間

A地区
B地区
C地区
D地区

1. 供給
・電気
・ガス
・上水道
- 2 衛生処理
・水害廃棄物
・防疫
- 3 輸送
・鉄道
・道路
- 4 安全・防犯
・警察署
・消防署
- 5 情報通信
- 6 避難所
- 7 防災・水防
- 8 福祉・医療・教育
- 9 居住



降雨開始12時間後	降雨開始21時間後	決壊1時間後
●10cm未満	●30～50cm未満	●1.0～2.0m未満 ●決壊直後にははん濫水が到達 ●決壊によるはん濫水の影響で家屋被害の可能性がある。
●10cm未満	●10cm未満	●10cm未満
●10cm未満	●10cm未満	●10cm未満
●10cm未満	●50～75cm未満	●10～30cm未満

1. 供給 ・電気 ・ガス ・上水道	■停電による関連施設への影響の波及 * 受電側(居住地など)が浸水により停電発生している可能性が高い
2 衛生処理 ・水害廃棄物 ・防疫	
3 輸送 ・鉄道 ・道路	■鉄道の運行停止(降雨等の気象状況を基に予め浸水開始前に運行停止) ■鉄道の浸水(軌道、線路ポイント冠水) ■道路冠水による輸送力の低下
4 安全・防犯 ・警察署 ・消防署	■浸水による通行止め道路の把握困難 ■道路冠水による活動支障 ■放置車両、渋滞による活動支障
5 情報通信	
6 避難所	●決壊付近のA地区は流れ力による倒壊等の被害の恐れがある。
7 防災・水防	■浸水範囲、被害の把握が困難 ■避難所浸水による避難場所の選定、指示が困難 ■広域的避難要望の増大 ■要援護者、孤立者の把握困難
8 福祉・医療・教育	■放置車両や道路冠水による患者搬送困難 ■災害時要援護者等の避難困難 ■停電後非常用電源に切り替わる
9 居住	■入手情報が断片的で状況把握が困難 ■内水発生による家屋への孤立 ■周辺の浸水により患者の搬送・受け入れが困難 ■災害時要援護者等の所在の確認困難 ■浸水による建物外への避難困難、孤立化 ●浸水深1m以上になり、固定電話を使用した救助要請や防災情報の入手が困難になる。 また、停電によりTVからの情報入手が困難となる恐れがある。

